



発行所
自由民主党本部
郵便番号 100-8910
東京都千代田区永田町1-11-23
電話 東京 03 (3581) 6211 (代表)
定価 1部 108円(税込)
<毎週火曜日発行>



自由民主党ホームページ URL <http://www.jimin.jp/>

「日本を守る！」決意表明特集



政治信条は「現地現場主義」。地域の皆さまの声を国政に届けて参ります！



伊勢志摩サミット・オバマ米国大統領（当時）を政府代表として出迎え



海洋国家・日本の守りの要である海上自衛隊の出国を激励

前衆議院議員・元外務大臣政務官／埼玉県第三選挙区支部（草加・越谷）支部長

きかわだひとし氏に聞く

わが国は、北朝鮮の核・弾道ミサイルなど、不安定な国際情勢により、戦後最大の安全保障の脅威に直面している。また、国内では、未曾有の少子高齢化・人口減少時代に突入し、子育て、働き方、老後等、新たな価値観に基づいた迅速な対応が求められている。これまで経験したことがない課題が山積する今こそ、わが党が責任与党・国民政党としての責務を果たさなければならない。積極的な外交と安全保障体制の整備によって、国民の安全・安心をしっかりと確保し、さらには、経済再生への取り組みをさらに強化、継続する必要がある。加えて、幅広い世代の意見を取り入れ、時代に見合った党運営も必要だ。

今号では、埼玉3区（草加市・越谷市）選出の前衆議院議員、元外務大臣政務官、きかわだひとし埼玉県第三選挙区支部長に、「日本を守る！」ための決意と三期目に向けた抱負を聞いた。

自由民主党前衆議院議員、元外務大臣政務官のきかわだひとしです。

個人における安全の基本は「自分の身は自分で守る」ことです。安全とは、誰かがつくってくれるものではなく、自らがいかに行動するかの結果として生まれるものであると考えます。危険を的確に予想し、確実に防止する努力をしなければなりません。

私は、この個人における安全の基本の考え方は、国や地域の経営にも、同様に当てはまるのではないかと思います。

わが国が有する3つの危機（危険）について、考えてみたいと思います。

まず、第一の危機は、北朝鮮のミサイル・核開発問題を含む、日本を取り巻く安全保障環境の悪化です。残念ながら日本は憲法の制約もあり、主体的に安全保障問題に対処する能力に欠けています。そのため、やはり米国との関係がとても重要です。

私は、外務大臣政務官の経験を活かして、また、党外交部会の部会長代理として、極東における米国の軍事力と経済的な影響力を有効に 裏面へ

プロフィール
きかわだひとし
(黄川田 仁志)さん

1970年（昭和45年）10月13日生まれ、東京理科大学理工学部土木工学科卒業、米国メリーランド大学大学院沿岸海洋環境科学プログラム修了（理学修士）、サラリーマン生活を経て、（財）松下政経塾卒業（27期生）。2012年（平成24年）12月の第46回衆議院議員選挙にて初当選。2014年（平成26年）12月の第47回衆議院議員選挙で2期目の当選。第3次安倍改造内閣において、外務大臣政務官就任。現在、衆議院外務委員会理事、党外交部会部会長代理、党宇宙・海洋開発特別委員会幹事長代理など。

自由民主党
埼玉県第三
選挙区支部

〒340-0052
草加市金明町1-1
中野マンション102号
電話 048-933-0591

機能させるべく努めて参る所存です。また、主体的に対処できる国を目指して、憲法改正の発議に向けて、党憲法改正推進本部の議論に、引き続き積極的に参加して参ります。

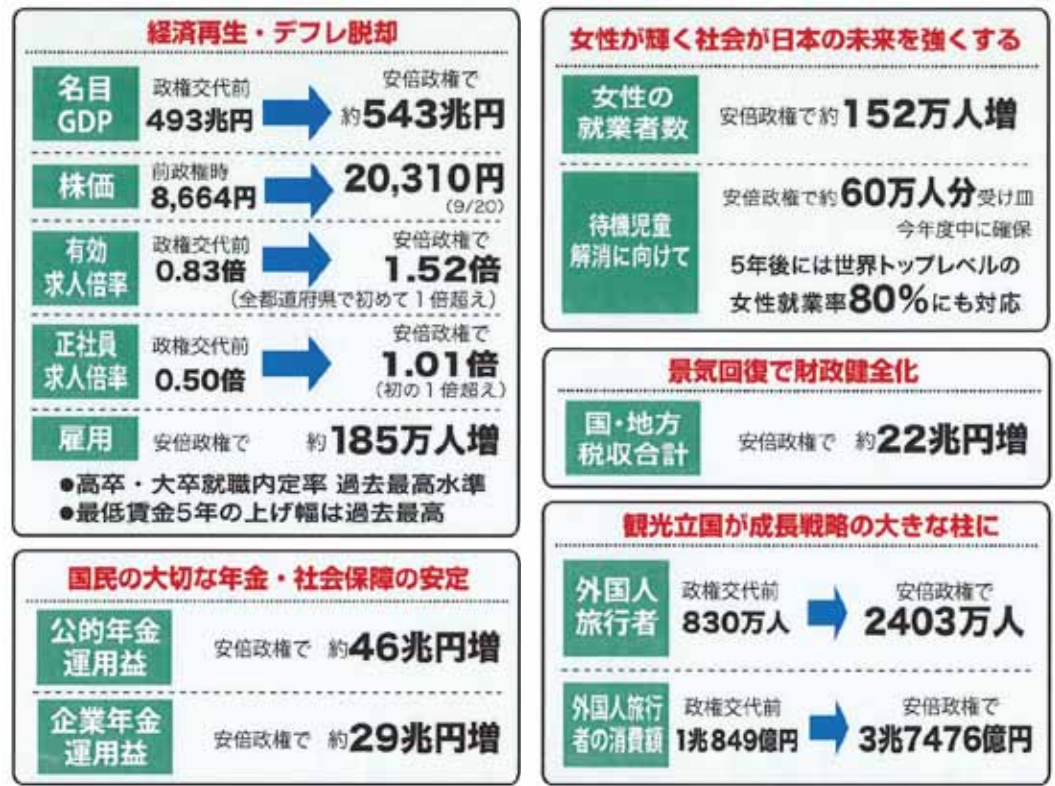
第二の危機は、地域経済の疲弊です。安倍政権の取り組みにより、国全体の経済と雇用の数字は改善されてきていることはわかります。しかしながら、地元の草加・越谷の中小企業や商店の経営者の声は厳しいものがあります。現地現場主義の下、地元の方々のご意見によく耳を傾けながら、引き続き、打開策を模索して参ります。草加・越谷は東京から近く、地の利があるほか、現在も人口が微増しており、他の地方都市が羨むような好条件が整っています。東京五輪・パラリンピックの契機も活かして参りたいです。

第三の危機は、少子高齢化などの社会構造の変化への対応の遅れです。この課題も、埼玉県や草加市、越谷市との連携が欠かせません。テレワークの推進や公共Wifiの整備などに取り組むことで、働き方改革を後押しすることや、高齢者や障害者のための地域づくり、保育所や学童保育の充実等に積極的に取り組んで参ります。

私は政治家として「自分の国は自分で守る」、「自らが考え、自らの意思で行動する地域をつくる」そして「自立と誇りある日本を未来へ」と訴えて参りました。現在、わが国が抱える3つの危機について、実行力のある政策を打ち出し、国民の生命と財産を守っていきます。これが国会議員としての第一義の務めであると考えます。

平成29年10月 黄川田仁志

数字で見えるこれまでの安倍政権の取り組み成果



きかわだ ひとし / 国際経験豊富 / 海洋資源や環境の専門家 / 現地現場主義

